

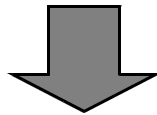
第3章 岐阜県がめざす将来像

人々は、優れた文化芸術を観賞したり、自ら文化活動に親しむことにより、喜びや感動、安らぎといった幸福感や充足感を感じることができます。また、郷土の伝統文化やその歴史を知り、身近に感じることで、自分の暮らす地域全体を、誇りあるふるさととして大切にする意識を持つようになります。

本県の文化振興の推進にあたっては、このような文化の持つ力に鑑みて、めざす将来像を心の豊かさを実感できる「誇りあるふるさと」岐阜とし、その実現に向けた取組みを進めます。

1 文化振興がめざす将来像

心の豊かさを実感できる「誇りあるふるさと」岐阜



< 具体的には >

県民誰もが、伝統文化、音楽、演劇、美術など様々な分野で質の高い文化芸術に触れたり、文化活動に参加することによって喜びや感動を味わい、安らぎや潤いを感じながら、心豊かな生活を送っています。

また、県内の各地において取り組まれる伝統文化の保存・継承や、本県ならではの特色を活かした岐阜県文化の創造を通じ、ふるさとに対する誇りや深い郷土愛が生まれ、岐阜県全体の発展につながっています。

2 文化振興の3つの視点

今後の文化振興に関する取組みを進めるにあたっては、現状から導き出された課題を、次の「参加」、「継承」、「創造」の3つの視点により整理し、それらに対する県の施策の方向性を示します。

(1) 「参加」

文化振興を進めていく上で最も重要なことは、「参加」の視点です。伝統文化を保存・継承したり、新たな文化を創造していくためには、まずは「文化芸術を鑑賞する」、あるいは「文化活動に携わる」という「参加」が出発点となります。より多くの県民

の皆さんが参加することによって、楽しみや感動を覚えるだけでなく、人々との交流から活気や活力、知恵が生まれてきます。

こうした参加により、郷土の伝統文化を守ろうとする熱意や、新しい文化を生み出す感性が育まれ、それらが地域に対する誇りやふるさとを大切に思う意識へとつながっていきます。

(2)「継承」

地域の人々により受け継がれてきた伝統文化は、多くの県民の「参加」をきっかけにして、理解や愛着がより深まり、さらなる「継承」へとつながっていきます。本県には、日本一の数を誇る地歌舞伎保存会や国内最多の県指定文化財に見られるように、数多くの伝統芸能や地域の祭りなどが今に伝えられてきています。

今後、県内各地に伝わる伝統文化を「岐阜県の財産」としてどのように守っていくのか、また、それらを誇りある文化としてどう伝え、その担い手をどう育てていくのかという「継承」の視点が必要です。

(3)「創造」

文化活動への「参加」を通じて、異なる世代や分野の人々の交流が進み、そこから生まれる斬新で独創的な発想から、新しい文化が「創造」されます。一方で古くから伝わる伝統文化も、ただ「継承」されるだけでなく、異なる価値が加わることにより、新たな文化の「創造」につながっていきます。

今後、自然と歴史に恵まれた本県の特徴を活かしながら、新しい岐阜県文化をいかにして生み、育てていくかという「創造」の視点が必要となってきます。